

ハゼノキ	学 名 Rhus succedanea 別 名 ハゼ・リュウキュウハゼ・ロウノキ
<黄櫨>	分 類 ウルシ科ウルシ属（落葉高木） 分 布 本州（関東地方南部以西）、四国、九州、沖縄、小笠原、朝鮮（済州島）、中国、台湾、東南アジア 用 途
解 説	山野に生え、高さ約10mになる。葉は奇数羽状複葉で互生する。小葉は4～6枚あり、長さ5～10cmの披針形または卵状披針形で先端は長くとがる。裏面は緑白色。5～6月、葉腋から長さ10cmの円錐花序をだし、黄緑色の小さな花を多数開く。雌雄異株。核果は直径約1cmの扁桃形で白くて光沢がある。果皮からロウをとる。ひどくはかぶれない。
	枝・葉
	幹
	花
	実